

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	胎児発育不全の周産期予後に関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	子宮内胎児発育不全 (Fetal Growth Restriction:FGR) は正常発育の児に比べて周産期死亡率や新生児仮死、神経学的異常のリスクが高いです。FGR に対する治療法は現在までに開発されておらず、最善な分娩時期の決定が唯一の予後改善策となります。しかしながら FGR の管理方法や分娩時期の決定についての基準は確立されておらず、本邦における胎児発育不全の妊娠転帰に関する報告もまだ十分でないため、症例の蓄積・的確な妊娠管理および分娩時期の決定方法について知見が求められています。カルテから情報を収集し、評価・検討を行うことで、東京慈恵会医科大学附属病院における胎児発育不全妊娠の分娩時期および予後を明らかにし、胎児発育不全妊娠の妊娠中の管理方法を構築することを目的とします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日　～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	胎児発育不全の患者さんで 2018 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに東京慈恵会医科大学附属病院で管理・分娩した方が対象です。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・母体基本情報：母体年齢・妊娠歴・既往歴・家族歴・内服薬・分娩方法・出生前検査の施行の有無と結果・妊娠中の合併症・胎児超音波断層法の診断結果・胎盤病理の結果 ・児基本情報：出生時妊娠週数・出生時体重・性別・アプガースコア・臍帯血 pH・先天性疾患の有無	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座
		氏名	山本　恵麗奈
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：助教 山本 恵麗奈（やまもと えりな） 電話番号：03-3433-1111（内線 9235） 対応時間：平日 8：30 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。